

JOINT STAFF PRESS RELEASE

<http://www.mod.go.jp/js/>

平成28年度日米共同統合演習(実動演習) 【28FTX/KS17】について



28. 10. 21
統合幕僚監部

平成28年度日米共同統合演習(実動演習)について1/3

演習の目的	武力攻撃事態及び武力攻撃予測事態における島しょ防衛を含む自衛隊の統合運用要領及び米軍との共同対処要領並びに重要影響事態における対応措置要領を演練し、その能力の維持・向上を図る。
実施時期	平成28年10月30日(日)～11月11日(金)
実施場所	我が国周辺海空域、自衛隊基地及び在日米軍基地並びにアメリカ合衆国グアム、北マリアナ諸島自治連邦区及びその周辺海空域等
統裁官	○ 自衛隊：統合幕僚長 海 将 河野 克俊 ○ 米 軍：在日米軍司令官 空軍中將 ジェリー P. マルティネス
主要演練項目	○ 水陸両用作戦 ○ 複合的な経空脅威への対処 ○ 日米共同による空域及び海域を防衛するための作戦 ○ 重要影響事態における搜索救助活動に係る訓練
演習参加部隊等	○ 自衛隊 <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合幕僚監部、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部及び情報本部 ・ 陸 上 自 衛 隊：各方面隊、中央即応集団等 ・ 海 上 自 衛 隊：自衛艦隊、佐世保地方隊等 ・ 航 空 自 衛 隊：航空総隊、航空支援集団等 ・ 共同の部隊及び機関：自衛隊指揮通信システム隊、自衛隊中央病院及び自衛隊呉病院 ○ 米 軍 在日米軍司令部、第5空軍、在日米海軍、在日米陸軍、第3海兵遠征軍及び第7水陸両用艦隊等 ○ その他 英軍、豪軍、加軍及び韓国軍からオブザーバー参加を受け入れ予定
演習参加規模	○ 自衛隊：人 員 約25,000名 艦艇等 約20隻 航空機 約260機 ○ 米 軍：人 員 約11,000名
演習の沿革	日米共同統合演習は、昭和60年度に開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施。実動演習は今年度で13回目

平成28年度日米共同統合演習(実動演習)について2/3

複合的な経空脅威 (ミサイル、航空機等)への対処



重要影響事態における 捜索救助活動



日米共同による空域及び 海域を防衛するための作戦 (防空、対潜戦、対艦攻撃等)



その他関連する訓練

- 統合後方補給
- サイバー攻撃等対処
- 基地等警備
- 空挺作戦
- 捕虜等の取扱い



水陸両用作戦

- 統合火力
- 総合訓練 (空自F-2の初参加)



グアム・
北マリアナ諸島

北マリアナ
諸島
グアム

重要影響事態における搜索救助活動に係る訓練

意義	○ 日米で実施する初の平和安全法制に係る訓練
	○ 重要影響事態における搜索救助訓練を実施 (これまでの訓練で実施してきた周辺事態における搜索救助の活動内容と変更なし。)
実施項目	○ 空自ヘリによる日米共同救助 (11月7日予定) ○ 日米共同による大量負傷者搜索救助(11月9日予定)



(訓練の実施場所)
浮原島(うきばるじま)

